

伊豆半島東方沖の緊急調査報告*

The Research of East Off Izu Peninsula Earthquake Swarms

海上保安庁水路部
Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

海上保安庁では、9月29日より群発地震の活動が活発化した伊豆半島東方沖において、航空機による目視観測及び温度測定、測量船及び自航式ブイによる海底地形調査を実施したので、その結果を報告する。

1. 航空機による観測

調査は、9月29日よりヘリコプターによる目視観測またはYS-11型機による目視及び熱放射温度計を使用した温度測定(第1図)を10月10日までの間、ほぼ毎日実施した。結果については以下のとおりである。

年月日	調査項目	活動状況
9月29日	目視観測	変色水等の異状は認められなかった。
30日	"	"
10月2日	"	"
3日	"	"
4日	目視観測及び温度測定	変色水、温度等の異状は認められなかった。
5日	"	"
6日	"	"
7日	"	"
9日	"	"
10日	目視観測	変色水等の異状は認められなかった。

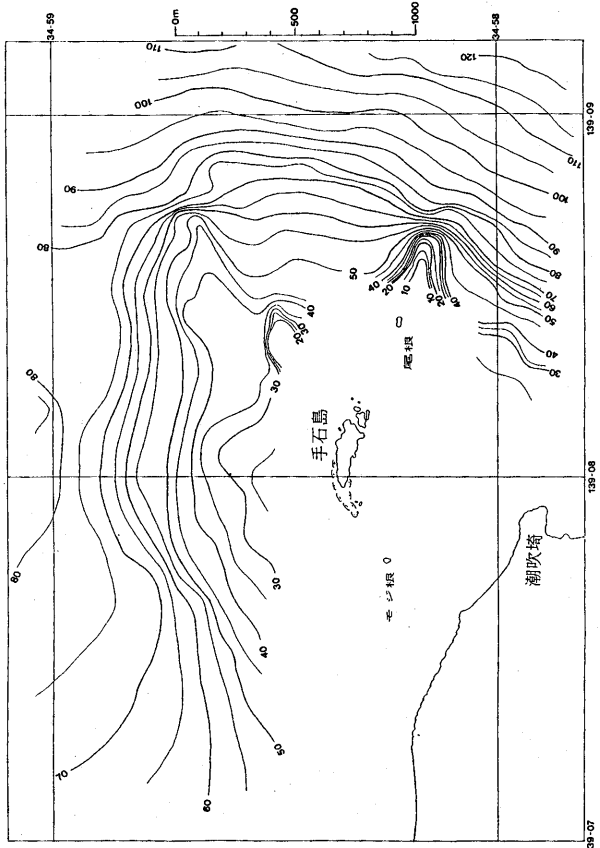
2. 海底地形調査

今回の群発地震の震央域の海域(第1図)において、10月6日～7日に、測量船「昭洋(1990総トン)」により、自航式ブイ「マンボウ」を使用して海底地形調査を実施した。測深線は、約0.1マイル間隔で設定し、「マンボウ」の音響測深機を用いて行った。

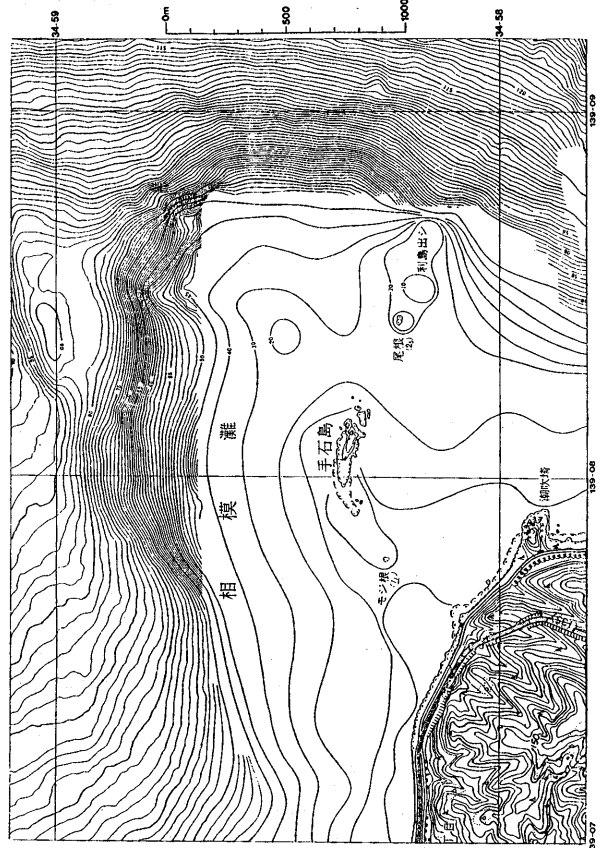
第2図に本調査で取得されたデータを基に作成した海底地形図を、第3図に平成元年10月までのデータ(測量船「天洋」のマルチビーム音響測深機)で作成された海底地形図を示す。両図を比較すると、潮吹崎北東方の尾根周辺の浅瀬や等深線が同じ形状を呈しており、海底地形に特異な変化は認められなかった。

なお、両図はデータ密度、データ処理過程が異なるため、完全には一致しない。

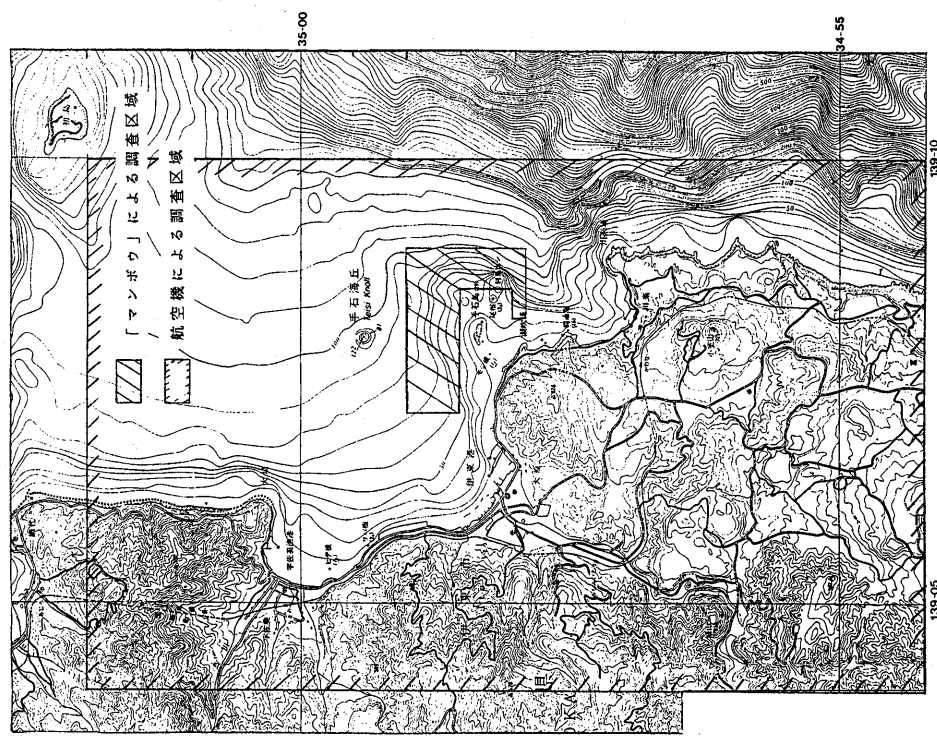
* Received 4 Dec., 1995



第2図 今回の調査による海底地形図
Fig.2 Topography off Ito surveyed in October, 1995. Contour interval 5m.



第3図 1989年までの調査により作成した海底地形図
Fig.3 Topography off Ito surveyed before 1989. Contour interval 1m.



第1図 調査区域図
Fig.1 Research area